

# 泰明だより



Taimei・令和6・2

泰明小ホームページ <http://www.chuo-tky.ed.jp/taimei-es/>

中央区立泰明小学校 第396号  
中央区銀座五丁目1-13  
Tel 03(3571)1765  
Fax 03(3571)0672

## 『時間、 どのように使いますか？』

副校長 栗本 元子

早いもので、今年度もあと2ヶ月となりました。4月に入学・進級した子供たちは、様々な経験を通して、多くのことを学び、成長してきました。

勉強する時間、遊ぶ時間、おしゃべりする時間、おうちの方と一緒に過ごす時間……。誰にでも平等に与えられている「1日24時間」。その時間をどのように使うかは、私たち一人一人に任されています。「時は金なり」。確実に過ぎていく時間を大切にしてもらいたいと思っています。

ところで、「後でやろう」と思い、後悔した経験をおもちではありませんか。私は「大変そう」「時間がかかりそう」などと思ったときに、この「後でやろう」という言葉に負けてしまいます。結局やらないわけにはいかないので、「あのときやっておけばよかったな」と後悔しながら、時間を使っています。後回しにせず、時間を上手に使っていききたいものです。

1日の多くの時間を学校で過ごす子供たち。授業の時間・休み時間・給食や掃除の時間……。いろいろな時間があります。子供たちにとって好きな時間ばかりではないでしょう。でも、集団での生活や様々な体験に時間を使い、子供たちの学びにつなげていくのが学校です。一人一人が時間を上手に使い、より充実した学校生活になることを願っています。



大谷翔平選手から  
野球のグローブ3  
つとお手紙が届き  
ました。

校長相談日 2月19日(月)9時～14時

## 2月のカレンダー

のマークはセカンドバッグ登校日です。

1	木		新1年生保護者会
2	金	マラソン 練習④	囲碁教室(4)
3	土		宇佐美学園学芸的発表会
4	日		
5	月	講話	委員会活動 安全標語ポスター掲示始
6	火	マラソン 練習⑤	放
7	水		安全指導
8	木		放
9	金	マラソン 練習⑥	囲碁教室(4) 放
10	土		
11	日		建国記念の日
12	月		振替休日
13	火	マラソン 練習⑦	クラブ 能楽鑑賞教室(6) 放
14	水		地域別児童会
15	木		放
16	金	保健講話 (石川先生)	囲碁教室(4) B時程 1.2年 4時間授業 3~6年 5時間授業
17	土		土曜授業日 泰明マラソン 安全標語ポスター掲示終
18	日		
19	月	講話	クラブ活動(最終回)
20	火	泰明タイム 泰明読書	たてわり班集会 放
21	水		保護者会(6)囲碁教室(4)
22	木		放
23	金		天皇誕生日
24	土		
25	日		
26	月	講話	委員会活動(3月分)
27	火	音楽朝会	放
28	水		謝恩会 囲碁教室(4) 1~5年 4時間授業 6年 6時間授業
29	木		放

( ) は実施する学年です。

## 席書会 書き初め展

文化的行事委員会 大竹 秀子

今年も書き初めの時期がやってきました。書き初めは、年が明けて初めて毛筆で書や絵を書く行事です。通常は、1月2日に行われることが多いそうです。

泰明小学校でも、1, 2年生は硬筆、3年生から6年生は毛筆で行います。毛筆は、クラスごとに講堂で本番を迎えました。新年、気持ちも新たに書く習字は格別なものがありました。普段の習字の半紙と違い、長半紙に膝をついて書く子供たちの表情は、真剣そのものです。1枚書き、見直しながらも一枚に挑む姿もまた素敵でした。

書き初め展のもう一つの楽しみといえば、良いところをお手紙にして伝えることです。自分の頑張ったところを友達に認めてもらえると嬉しいよ、うで、友達からの手紙を一生懸命読んでいました。また、友達に手紙を書く際には、一生懸命その子の書き初めの文字一画一画に注目して書いていてこれもまた素敵な姿だなと思いました。

ご家庭でも持って帰ってきた作品をご覧ください、沢山お子さんを褒めていただけると幸いです。



## 校内研究

研究主任 上原 弘道

自分の考えをしっかりとつ。考えを積極的に表に出していく。それを仲間と共有し、共に話し合いながら、新たな価値を創造したり、困難な課題を解決したりしていく。そんな力が、これから生きていく子供たちには必要なのだと考えます。では、その力を身に付けられるようにするにはどうすればよいのでしょうか。

今年度は、国語科の「話すこと・聞くこと」の学習を通して、そのような力が身に付くよう研究を重ねてきました。例えば「自分の考えをもつ」ことについて。考えをもつためには、目の前にある課題がどれほど自分にとって切実なものなのか。切実だからこそ考える価値があり、子供は考えをもとうとします。そのため、どんな課題を設定するかが重要であり、子供に響く教材ができるよう話し合ってきました。この例だけでなく、校内研究では子供たちが自分事として課題を捉え、学習に取り組めるよう創意工夫をしながら研究を進めているところです。

## 縦割り班清掃

生活指導部 瀧山 広美

本校では、清掃活動を1年生から6年生で構成される縦割り班で行っています。縦割り班清掃では、高学年は、下学年のお手本となることで自分が模範を示すという自覚や責任をもつことができ、下学年はいろいろな学年のみんなと協力することの大切さを学ぶことができます。また、異学年との交流の場をもつことで、自分の学年以外の人とのかかわりが増えるよさもあります。子供たちは、清掃時間になると、それぞれ決められたクラスに行き掃除をしています。上の学年の子供たちは「こうするときれいになるんだよ。」「この場所がきれいになったね。」と下の学年の子供たちに掃除の仕方を教えることや声かけをしてくれています。また、掃除が終わると6年生が振り返りをして、班をまとめている姿も見られます。これからも、みんながきれいで気持ちよく過ごせるよう、縦割り班で協力して清掃活動に取り組んでもらいたいと考えています。